

令和7年度 第1回 公民館運営審議会 会議録

1 日時・場所 令和7年9月29日(月) 午後1時30分～3時10分
自由が丘公民館2階中会議室

2 出席者

<委員15名>

藤田 均委員長	蓬萊道龍副委員長	井上澄子委員
田中紀美代委員	告野幹也委員	藤原敏行委員
大島あんず委員	大田直樹委員	佐藤敦子委員
森岡元子委員	寺本善英委員	福島康之委員
岡本貴美代委員	池澤絹代委員	田中善子委員
(欠席：池井宏明委員 塚北和徳委員		徳沢芳彦委員
坂田直裕委員 藤井尚美委員)		

<事務局14名>

大北由美教育長	森田眞規教育総務部長	
大西武宏生涯学習課長		
金井善純館長	生田淳仁所長	横田浩一館長
藤井克成館長	長谷川敏彦館長	正心 均館長
安福昇治館長	梅田宏和館長	野口博史館長
石田英之館長	山本 寿係長	

3 報告

- (1) 令和7年度三木市教育の基本方針について
- (2) 各公民館の活動目標及び事業進捗状況について

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴人の数 0人

6 会議の概要

1 開 会 山本生涯学習課係長

2 あいさつ 大北教育長

3 委嘱状交付 机上交付

4 委員自己紹介

5 報 告

(1) 令和7年度三木市教育の基本方針について

(大西生涯学習課長説明)

(2) 各公民館の活動目標及び事業進捗状況について(各公民館長より状況説明)

6 議 事 公民館の開館時間について

7 そ の 他 各地推協における指導者・リーダー研修会等実施予定について

8 閉 会 蓬萊副委員長

7 発言の内容

報告内容についての質疑応答

寺本委員：スポーツを通したコミュニティー事業が減ってきている。残っているのがソフトボール(別所)、スキー・スノボ(細川)、これらは長年実施をされているが、スタッフとして活動できる若い世代が少なくなるなど、その運営には苦勞をされていると思う。また、バレーボールは、志染はなくなったが、口吉川ではバレーボール大会を行っている。どれくらいのメンバー、チームが集まっているのか。そもそも中堅層の年代が少なくなっているの、そのような活動は難しいと思うが、スポーツは大事だと思うので、現在の活動状況はどのようなものなのか教えていただきたい。

横田館長：町民ソフトボール大会はちょうど昨日おこなわれ、今年度は7チームの参加があった。ただ、自治会としての参加は1チームだけ、あとは巴の工業団地の企業に呼びかけ、企業と自治会、またその混合チームという形での7チームの参加であった。例年6~8チームの参加、運営はスポーツクラブ21にお願いをしているが、高齢化等で人数が減ってきているのが現状であるため、今後も工夫が必要であると考えている。

長谷川館長：毎年スキー・スノボ教室を行っており、昔は1泊2日、今は日帰りで開催している。全体で40人ほどの参加、うち10人ほどが指導者。年齢は高い方もおられるが、大変意欲的な方で毎年お世話になっている。

正心館長：地域全体でのスポーツ活動は実施できない状況、ただそういったところの受け皿として、ふれあいまちづくり協議会では、町民全員を対象としたグラウンドゴルフ大会や、今年からゴルフ大会も始めている。また、春秋2回のウォーキング等、町民全体が交流できる場を提供するなど活動を広げていただいている。しかし、何分担い手不足、後継者不足が課題となっている状況である。

寺本委員：ありがとうございます。ソフトボール7チームの参加は結構多いと思う。また、スキーも40名程度の参加ということで大変良いことだと思う。

青山でのラジオ体操のことについてお尋ねしたい。私の地区ではラジオ体操は7月いっぱい、8月には行わないとのこと。昔は8月末までで、さらに里帰りした他の地区からの参加もあった。青山のラジオ体操では何人ぐらい来ておられるのかお聞きしたい。

野口館長：のべ4400人、20日間程度おこなった。子どもたちだけではなく高齢者の方なども一緒になってラジオ体操をされている。

寺本委員：志染小学校の運動会に地域から運動会の応援に行かれている。小学生が少なくなったことによる苦肉の策かと思われるが、とても良いことだと思う。私たちも普段地域で子どもたちを見かけることがない。今はパソコンもあり外で遊んでいる姿も少なく、子どもたちの顔を知らない。子どもたちも地域の方を知らない。運動会で子どもたちと地域の方との顔をつなぐことによってコミュニケーションが図られ、登校時の声掛けにつながることもある。他の地域でもこのようなことを計画することも考えられたい。

福島委員：デマンド型交通、「音楽で脳トレ」について、他の館でもぜひやってもらいたい。

藤田委員長：公民館10館のうち、スリッパに履き替えなくてもよい館は、中央と吉川

だけである。吉川は吉川町時代(合併前)にいろいろ意見があり変更をした。道路事情もよくなり(泥が上がるといった)問題もない。できれば、他の館も下足のままで上がれるように検討してもらいたい。

藤原委員：靴の間違が多い現状がある。また、利用者を見ていると、入口階段を使わずスロープ利用が多くなった。階段での転倒を避けるためという高齢化の問題がうかがえる。我々には施設に入るときは靴を履き替えスリッパで活動するという習慣がある。

田中委員：公民館に調理室とかはないのか。別所は玄関でスリッパに履き替え、調理室でスリッパに履き替える。

藤田委員長：調理室や和室では、その部屋用の靴箱がある。

井上委員：下靴のままで上がれるのは便利 調理室

藤田委員長：館それぞれの事情はあると思うが、ぜひ検討をいただきたい。履き替えることが決して普通ではない。

8 発言の内容

議事内容について

大西課長：資料の 68 ページご覧いただきたい。公民館の開館時間について、コロナ禍が明け公民館に利用者が戻ってきてはいるが、少子高齢化等の影響により利用者が減少している実態がある。公民館は現在夜 10 時まで開館しているが、現在開館時間の変更についてご意見を賜りたい。68 ページの資料は公共施設案内予約システムというインターネットの予約システムの状況より取り出した資料である。あくまでも資料から抽出したもので、台帳等とは異なっているものもあるが、客観的な資料としてご覧いただきたい。令和 7 年 7 月の夜間の利用件数を比較すると、1 日当たり 4 件程度ある館から 1 件程度の利用しかない 6 館がある。光熱水費、人件費の高騰もあり、全庁での取組として施設管理の適正化の観点から、各公民館の貸館の費用対効果等を考え一層の効率化を図りたい。そのため、現在の固定時間の開館ではなく、利用状況に応じた柔軟な開館時間に変更にすることを検討したい。例えば夜間の利用が少ない場合は 9 時までとする。また、平日の夕方以降夜間の予約が入っていない場合は 4 時半ないし 5 時の閉館としたり、予約が入っていてもそれが夜 8 時までであれば、その利用が終了すれば閉館としたりするなどの対応が考えられる。このように開館時間を短くした場合の問題点等、利用者の立場でのご意見を頂戴したい。

藤田委員長：皆さんそれぞれに公民館をご利用になっていると思うので、せっかくの機会でありとても大切なことでもあるので、皆さんにご意見をいただきたい

佐藤委員：三木市は 10 時閉館ということで、他の地区の遅い閉館のところに行っているという話を聞いたことがある。今はどうなっているのかと思い調べると 10 時までと短くなっているようだ。利用がないのであれば早い閉館を検討してもよいと思うが、市のスポーツクラブの実情を言うと、バスケットボールが

盛んで、月曜から日曜までほぼ毎日、公民館ではなく中学校や小学校の体育館を使って活動をしており、どちらも 9 時から 10 時まで使っている。若いメンバーで十分練習しようとするとうとうそのような時間になってしまう。もう少し検討しないと自身の結論は出ない。

森岡委員：自分は基本的に昼間利用するので影響はないと思うが、定期利用ではなく（臨時的に）夜使いたいと思う時もある。急に使いたいときに取れなくなることは困るという思いもある。また、気になることとして、ロビーや学習室等で学生が勉強するといった利用もあるのではないかな。

寺本委員：公民館は子どもたちの「駆け込み寺」となっている面もあるため、夜 7 時ぐらいまでは開館してほしい。それ以降であれば、使用のない場合はすべて閉館、使用のある場合は 10 時までといった柔軟性をもって考えていただきたい。また、利用申し込みは一週間前までにといった、申込の期限も必要ではないかな。

福島委員：公民館に対して、新しい本、新書を入れてほしい。図書館の閉館は何時になっているか。（18 時である）

岡本委員：私は有志でトランポリンをやっており、上吉川小学校の体育館をスポーツクラブ 21 に参加しつつ使っていたが、閉校となったため吉川町公民館の部屋を借りていた。高齢者が大半のため 50% の減免で使用しているが以前は無料であった。地元の小学校を無料で使えていたのが、5～6 キロ離れた公民館で有料とはなったがそれでも利用させてもらっている。途中値上げもありながらも半額ということで使っている。第 2・第 4 土曜の夜 7 時から 9 時まで利用しているが、自分たちの利用が終わっても管理人さんが一人で 10 時までいらっしゃるのには無駄には感じる。（地域が広いという）地域性もあるが、夜間の利用は少ないのではないかな。吉川では公的な会議は公民館、あるいは、支所が週 1 回木曜日は、9 時～10 時頃と遅くまで開いているのでその日に集約して行うことになっており、考慮が必要だとは思いますが、ほとんど行われていないのではないかな。

池澤委員：私も吉川町公民館を利用しているが、以前は夜活動をしていたが、年齢的なこともあり現在は午前中、月 2 回程度踊りで利用している。公民館入口に掲示板があり、（その日の利用状況教がわかるが）夜の利用のない日が多く、昔に比べて利用が減っている気がする。（公民館は）子どもたちの駆け込み場所という話題があったが、吉川の場合は子どもたちが家の近くまでバス通学をしている。昔は徒歩通学だったので家族が公民館まで迎えに行ったりしていたが、今はスクールバスを降りた場所に家族が迎えに行く家庭が多い。子どもたちの中には英語のサークルで公民館に行ったりしているが、終了時間がはっきりしているし、他の団体も 2 か月前に部屋の予約をされて公民館の各部屋の予約状況がはっきりしており、予約の締め切りは使用の何日前までといったようにしっかり決めてありさえすれば、使用のない日は早く閉館をしてもいいのではないかな。

田中委員：資料にある 17 時から 22 時までの利用件数が書いてあるが、夜 8 時以降となるともっと減るのではないかなと思う。そうすると光熱水費や人件費がかさむのではないかな。市民の税金で賄われているものなので、予約があれば開館するという柔軟な対応をすることで市民の理解を得られるのではと考える。

大田委員：公民館は日頃から子どもたちの憩いの場になっている。市内一斉にというこ

とは難しいと思うが、各公民館の状況に応じて変えていけるところは変えられるのではないかと。定期利用のある日は仕方ないが、利用のない日は閉館するという柔軟な対応でいいのではないかと。青山の場合は図書館があるので、その閉館時間に合わせたりする工夫も必要ではないかと思う。個々の公民館の事情によりによって対応を変えていくことに賛成する。

大島委員：青山公民館を利用しているが、夜 8 時からの予約も多くあると思っている。PTA や自治会などの会議も夜である。青山公民館に関しては夜 10 時まで開けてほしいと思うが、他の公民館は状況に合わせて変えていっていいのではと思う。

藤原委員：緑が丘町公民館はトレーニングジムの機械が新しくなって多くの利用がある。毎週太極拳等で利用しているが、トレーニングルーム利用者健康志向で、足腰を鍛えて認知症にならないようにという目的の方が増えている。ただ、夜に公民館の近くを通った際に見ると、駐車場の車は 2～3 台なのに、館内は煌々と明かりがともっている。これはもったいないと感じる。利用者にアンケートを取ってみるのはどうか。個人的には 9 時閉館でいいと思うが、せめて 9 時半の閉館ではどうか。反対の意見もあると思うが、それならば活動の開始時間を早めるといった利用者の対応もこれからの時代必要だと思う。

告野委員：私も会議で遅くなった時に、受付でシルバーの方だと思うが 1 人窓口で座っていらっしゃるのが寂しいと感じていた。ご説明いただいた内容に賛同する。ただ、予約を重視するというお話があったが、突然の来館や電話も考えられるので、公民館の閉館時間を事前に周知する必要がある。閉館時間については 19 時、事前予約のある時は例外的に 22 時や 21 時 30 分といった対応でよい。どちらを原則とするかだと思うが、統計的に空いているときが少ないほうを例外的な対応とし、閉館時間を早めにするのが良いと考える。

田中委員：時間があればその時間まで使用されると思うので、それぞれの公民館の実態を明らかにし、利用状況に応じた柔軟な対応をされたうえで、時間を決められれば、利用者はそれに応じて活動をするし、実態が分かることで理解できるのではないかと。

井上委員：自身は昼間の利用が多いが子どもたちも昼間は多い。夜 8 時 9 時になった時も、子どもたちがスポーツをしているときもある。状況に応じてある程度（閉館時間を）区切られたうえで、申請をすれば（9 時 10 時まで）使用できるようにされればよい。使用状況により検討されるのが良いと考える。

蓬萊副委員長：（各委員からの意見は）提案どおり賛成の意見であったと思われる。利用状況により、また各公民館の実態、特に中央公民館は今後、商工会議所や高齢者大学等一度に入ってくることになる。最初の説明にあったように、コマ数で考えており、すべての団体数が入っても大丈夫な計画であるということであったが、（高齢者大学等）夜にされる活動は少ないため、昼間の利用が混雑すると考えられる。各地区の公民館の実態があり、中央公民館に至っては複合化に関連して課題が違ってくると思う。私自身結論を出すのは難しいと感じている。

藤田委員長：確認であるが、今日の会では各委員の意見を聞くだけにとどめておくということか。

大西課長：そのとおりである。

寺本委員：公民館の開館時間は統一しないといけないのか。

大西課長：そこからの見直しである。今はすべて同じにしているが、今各委員がおっし

やったように、地域の実情に応じて、また、使用状況の実態に応じた運用に可変的に変えていければと考えている。利用の多い青山が夜 7 時に閉まりますといったようなことではない。

田中委員：冬場と夏場であっても（利用状況が）変わるが。

藤田委員長：今日は皆さんに意見を聞いたので参考にしてもらいたい。今晚急に夜 8 時から公民館を利用したいと連絡すれば使用できるのか。

大西課長：その部分が一番の問題になるところだと考えている。やはり何日か前までの予約状況に応じての対応でないと難しい。

（本日意見を聴取した公民館閉館時間については）来年度に向けて庁内で検討しているところである。本日、いろいろな意見をいただいたので、そのあたりも含めて年度内に案をまとめて移行できればと考えている。公運審の 2 回目あたりで方針をお示しできるのではないかと思う。早ければ、来年度の中盤あたりからの実施されるスケジュールで調整中である。誤解のないようお願いしたいが、開館時間を短くするのであればという仮定に対してのご意見をいただいたという理解をお願いしたい。貴重なご意見をいただき感謝する。

参考にさせていただき 2 月終わりまでにまとめたいと考えている。

藤田委員長：私の進行は以上とする。